

2025.11.20



地域日本語支援ニュース こだま 第461号

ともに生きる

～地域で、日本で、そして世界で～



★—— メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます。——★

【地域日本語支援ニュース 「こだま」】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会（AJALT）発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。

★—— 皆様からのご意見、ご感想をお待ちしています。——★

編集部：<https://www.ajalt.org/local/soudan/contact.htm>

---

■ともに生きる：愛知県より■

新山和子さんは、長年にわたり青森市で日本語支援活動にたずさわった方です。愛知県豊田市に転居後も当初は模索（もさく）の日々が続いたようですが、その後「新たな居場所（いばしょ）」と思える日本語ボランティア教室に出会ったとうかがいました。今の思いを書いていただきました。

振り返る私のあゆみと新たな居場所

にほんごドット JP 「すまいる」ボランティア 新山和子

◆青森を想う

家庭の事情で青森市から豊田市に移り住んでから5年目に入りました。移住当初はあまり感じていなかった郷愁（きょうしゅう）なるものをヒシヒシと感じるこの頃です。

青森の大学ではいろいろな国からの留学生たちと日本語の勉強はもちろん、春にはお花見で桜を愛で（めで）、夏にはねぶた祭り観覧（かんらん）、秋にはりんご園でもぎたてのりんごを味わい、大学祭では各国の料理の販売や国の紹介、冬には雪景色を楽しむなど留学生たちとの交流が多々ありました。

また遠く国を離れて暮らしている青森市内在住留学生たちや地域に住んでいる外国籍（せき）の皆さんの居場所（いばしょ）作りとして毎月1回「ランチ教室」という無料食事会を仲間と一緒に（いっしょ）にしていました。ま

ず、留学生を含む外国籍の皆さんは日本人ボランティアと一緒に料理をします。そのあと、試食（ししょく）をします。そして無料食事会にお客さんとして参加してくれた地域の皆さんに食事をしてもらいます。食事会を通して自然な日本語やおもてなしの心に触れることができたうえ、国籍や年齢を超えた友達作りもできたと思います。青森での活動すべてに驚きや喜び、そして学びがありました。

#### ◆最初の居場所

移住1年目から3年目にかけて豊田市国際交流協会主催の日本語教室「にほんごひろば」で約2年間、教室運営や当日の教室の進行を担当するプログラムコーディネーターとして、また、参加者の皆さんとの会話を担当する日本語サポーターとして活動をしていました。

#### ◆新たな居場所

その後、仕事の関係で半年ほど活動はできませんでした。ですが、2024年3月に「すまいる」に出会いました。現在、週1回このグループでボランティアとして活動をしています。

「すまいる」は2018年4月に会話を通して日本語を練習しようと設立された「にほんごドットJP」の「土曜日クラス」として2023年9月に開始されました。活動は毎週土曜日の午後1時30分から3時までで、さまざまな国からの学習者さんは各々のテーマを持って参加します。ここでのテーマとは、学習者さんからのニーズのことで、ほんとうにさまざまです。

#### ◆学習者さんのニーズに寄り添う（よりそう）

主なテーマは、ひらがなの読み書き練習がしたい、自然な日本語で周りの人たちと話がしたい、日本語能力試験を受けたいなどですが、私たちボランティアは学習者さんの希望するテーマに寄り添う形でお手伝いをしています。ボランティア全員が日本語を教える資格を持っているわけではありませんが、学習者さんのお手伝いがしたいという熱い想いをしっかり持って参加しています。ですから、支援に不足している点をできるだけ身に付けようと文法の勉強をしたり、日本語能力試験の対策を勉強しあたりするなどの努力も無理のない範囲でおこなっています。「すまいる」のリーダーは「学習時間は短いですが、学習者さんとボランティアが共に良い時間を過ごすことができれば嬉（うれ）しい」と言っています。このことはグループのモットーになっています。

#### ◆学習者さんとのふれあい

先日、「能力試験 N2 を取ったら、ボランティアをするよ」と言ってくれる学習者さんがいて、その場にいたボランティアたちは大喜びでした。「すまいる」の小さな助け合いの活動が広がっていく予感がして嬉しい限りです。

また、学習だけではなく、学習者さんとボランティアと一緒に地域のお祭りやイベントに参加することがあります。ときにはトヨタスタジアムでのサッカー観戦（かんせん）に招待された学習者さんがボランティアを同伴者（どうはんしゃ）として連れていくことができるそうです。そのときは、ボランティアも無料で観戦ができるそうで、私も機会があったら連れて行ってもらいたいと思っています。

#### ◆今思うこと

青森市、豊田市で日本語学習のお手伝いをするを通して、他人と関わりあうことの大切さや楽しさ、難しさを学んでいます。生まれた国は違っても、同じ時代を同じ星と一緒に生きている私たち、お互いの違いを認め合い、支え合い、支えられ合いながら過ごせたならと願いつつ、「生涯現役（しょうがいげんえき）」を目標に少しずつ進んでいきたいと思っています。このような環境に恵まれていること、一緒に活動できる仲間がいてくれることに感謝しています。

編集部：にほんごドット JP 「すまいる」

<https://www.tia.toyota.aichi.jp/japanese/%e3%80%90%e3%81%86%e3%81%91%e3%81%a4%e3%81%91%e3%81%a1%e3%82%85%e3%81%86-%e3%80%91-%e3%81%ab%e3%81%bb%e3%82%93%e3%81%94%e3%83%89%e3%83%83%e3%83%88jp-%e3%80%8c%e3%81%99%e3%81%be%e3%81%84%e3%82%8b/>

---